

2022年度 ESG説明会

開催日：2022年11月25日



Environment



Social



Governance

創業の精神である
「世のため 人のため」
を受け継いで

社是

豊田佐吉翁ノ遺志ヲ體シ

- 一 上下一致至誠業務ニ取リ産業報國ノ實ヲ擧クヘシ
- 一 研究ト創造ニ心ヲ致シ常ニ時流ニ先ンスヘシ
- 一 華美ヲ戒メ質實剛健タルヘシ
- 一 温情友愛精神ヲ發揮シ家庭的美風ヲ作興スヘシ
- 一 神佛ヲ尊崇シ報恩感謝ノ生活ヲ爲スヘシ

豊田綱領

「感謝」「謙虚」
「信頼され、選ばれる会社」
「好きだな、トヨタ紡織」

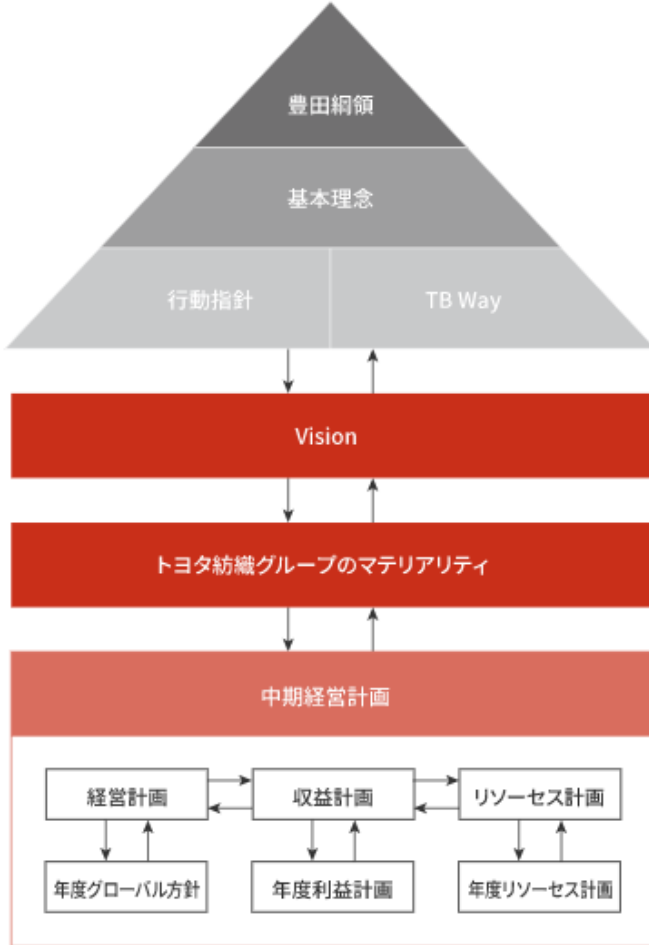


第1章

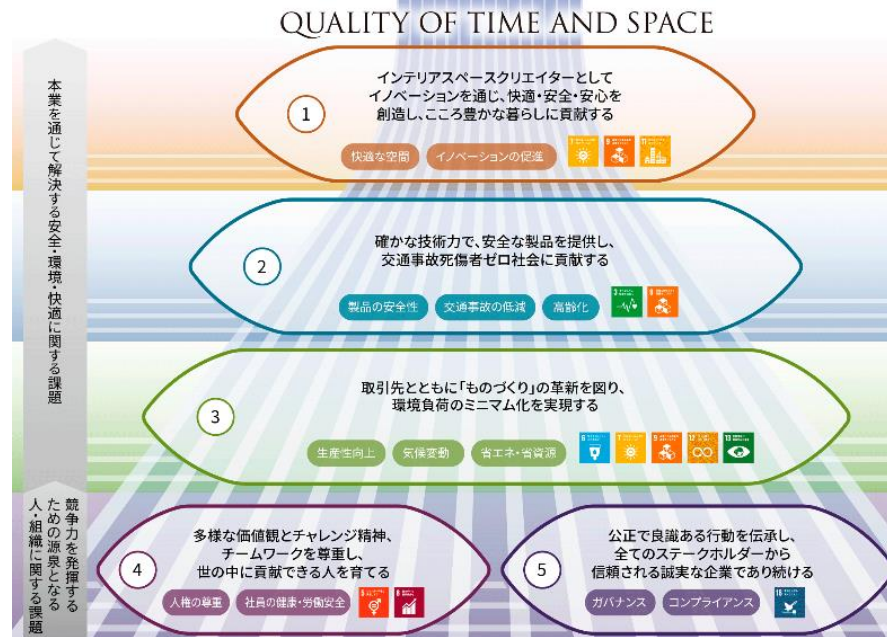
トヨタ紡織グループのサステナビリティ

1. トヨタ紡織グループサステナビリティ 基本方針

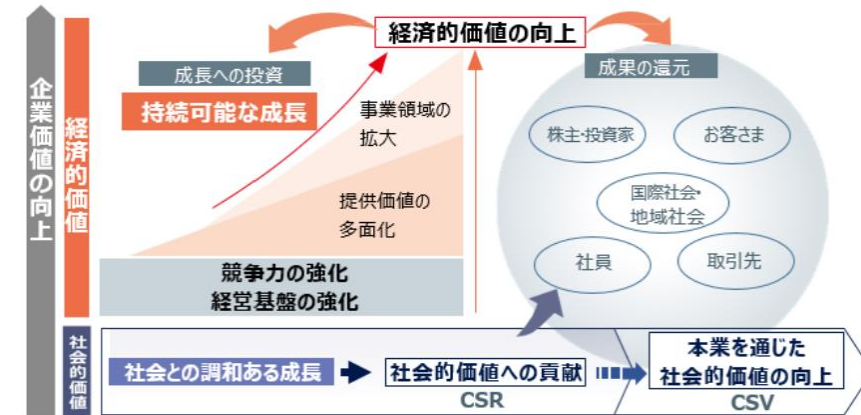
1) 経営の考え方



2) マテリアリティ



3) 経営の目指す姿



本業を通じて社会課題の解決に取り組み「信頼され、選ばれる会社」を目指す

2. ESG KPI

ESG KPI 25項目はP36に掲載

E:カーボンニュートラル

小林 宏次 カーボンニュートラル環境センター センター長



ESG KPI

関連ページ

生産CO₂排出量削減率

P10、11

S:技術開発

山本 卓 CTO (Chief Technology Officer)



ESG KPI

関連ページ

インテリアスペースクリエイターに
つながる新製品開発率

P21、22

交通安全に寄与する製品の
採用が予定される車種率

P23

S:風土改革・D&I

永田 伸久 CHRO (Chief Human Resource Officer)



ESG KPI

関連ページ

(女性管理職数)

P26

()はESG KPI以外の社外公表済指標

G:ガバナンス

白柳 正義 CEO (Chief Executive Officer)



ESG KPI

関連ページ

サイバーセキュリティ
重大インシデント発生件数

P34

**ESG KPIを指標として活動を推進し、
マテリアリティの達成と、2030年ありたい姿※の実現を目指す**

※2030年ありたい姿：企業価値の向上によりサステナブルかつ世界トップレベルの企業になる（インテリアスペースクリエイターとして新しい価値を創造）



第2章

世のため人のための社会課題解決に向けた取り組み





**環境：
トヨタ紡織2050年環境ビジョン達成を目指して**

1. 2050年環境ビジョンの達成に向けて

2030年を見据えて、戦略や社会課題、市場動向をもとに取り組むべき課題の再整理を実施



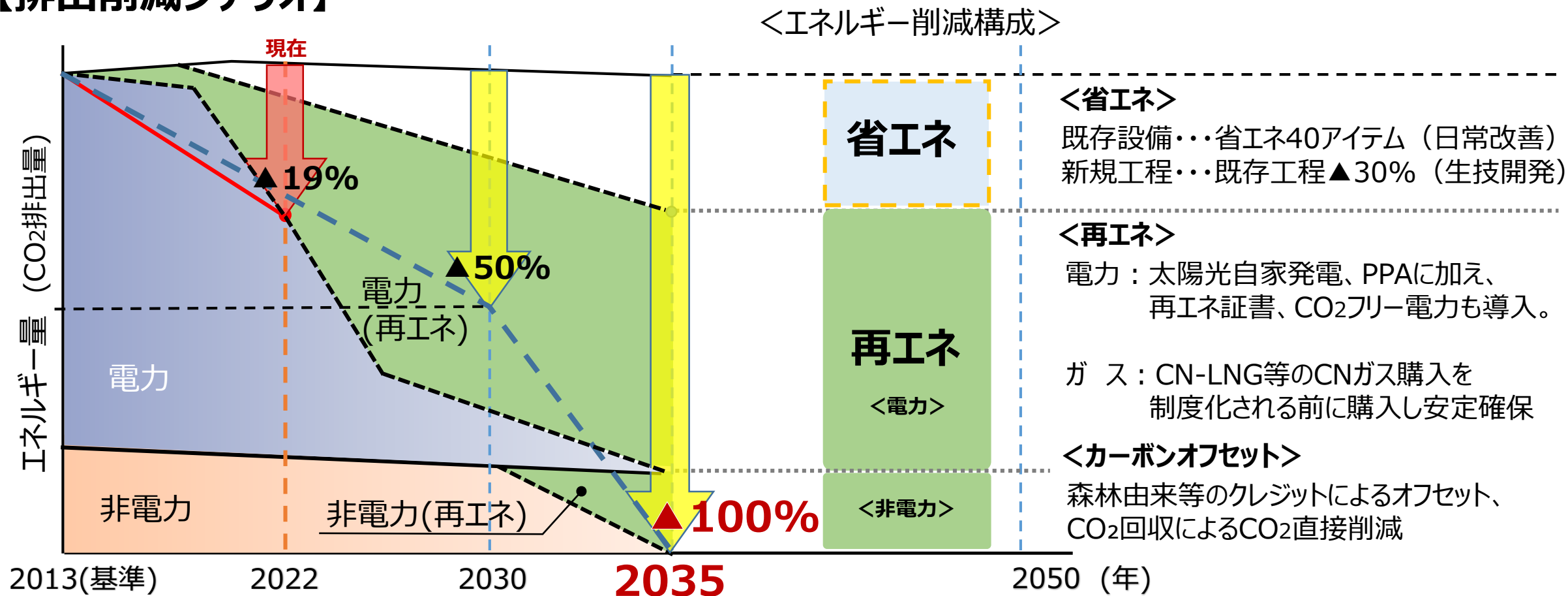
- 取り組むべき課題**
- 科学的根拠**
SBT等によるLCAでの削減目標の認定
 - サーキュラーエコノミー**
天然資源枯渇
CO2排出削減
 - 情報開示**
TCFD・TNFD・CDPでの適宜開示
 - カーボンフットプリント**
炭素税対応
製品別管理
 - 生物多様性**
自然共生
(乱獲・乱伐の防止)

ステークホルダーのみなさまとともに、子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な地球環境を目指し、ライフサイクルCO2排出量ゼロを目指す

2. 生産CO₂削減 (Scope1.2)

工場CO₂ カーボンニュートラル

【排出削減シナリオ】



2030年▲50%、2035年 ▲100% カーボンニュートラルを目指す

3. ものづくりを通じた環境対応 (Scope1.2)

省エネ活動によるCO₂排出量削減

【生技開発での考え方と取り組み】

ステップ³

高エネルギー工程を**なくす**

ステップ²

高効率エネルギー工法に**変える**

ステップ¹

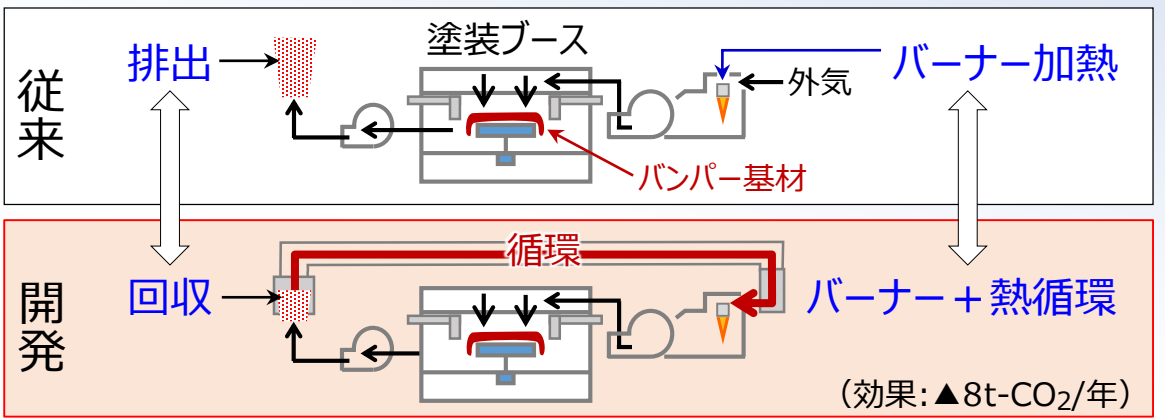
エネルギーのロス・ムダを**減らす**

事例 1 : バンパー塗装工程

フロントバンパー

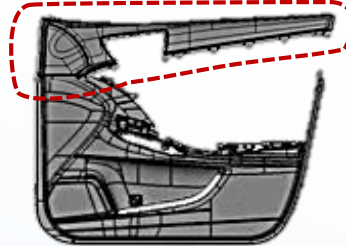


熱を循環させ
加熱を**減らす**

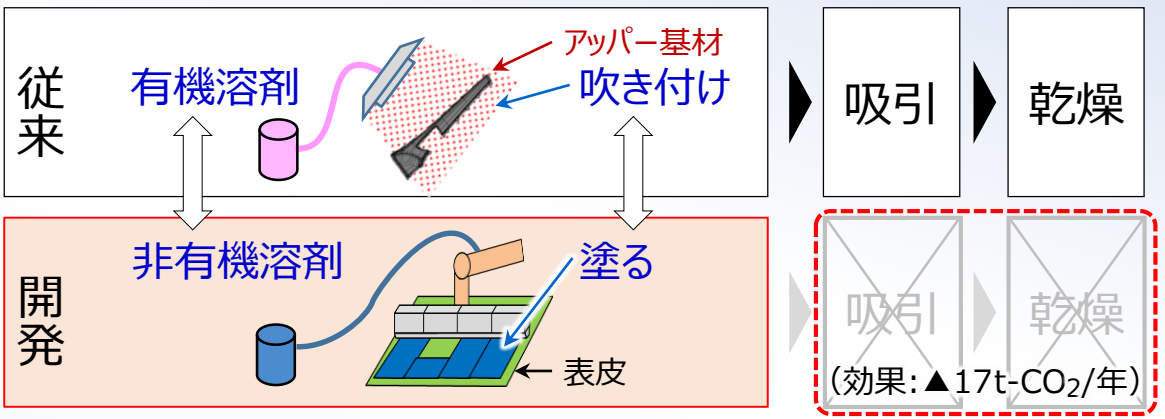


事例 2 : ドアトリム表皮接着工程

ドアトリムアッパー



工法を**変え**
工程を**なくす**



『**減らす・変える・なくす**』の考え方でCO₂排出量を確実に削減していく

4. SDGs達成に向けた循環型社会づくり (Scope1.2)

減量しきれない廃棄物の有効活用

【食品循環を目指した取り組み】



【表皮端材のアップサイクルと地域貢献】



社会と調和を図った活動を推進する

5. ものづくりを通じた環境対応 (Scope3)

バリューチェーンを通じた、CO2削減への取り組み

【仕入先様と一体となった取り組み】

[2022年度活動実績]

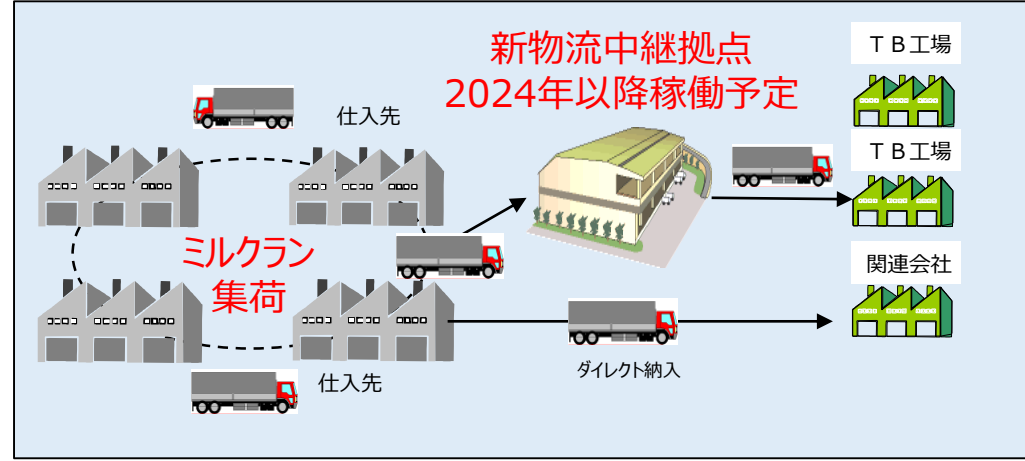
- ①仕入先協力会を通じた、脱炭素スクールの実施
- ②CO2排出量調査、低減アイテム積み上げ依頼
【Sunshine脱炭素スクール】



- ・外部講師による、現状把握～目標設定、低減計画立案の講義
- ・CO2排出量の見える化手法の講習やチームディスカッション

【高効率な物流の実現に向けた輸送体制の見直し】

①引き取り物流化の推進と新物流中継拠点の設立(豊田市)



②関連子会社の合併によるオペレーションの最適化 2021年10月1日にグループ物流子会社を合併

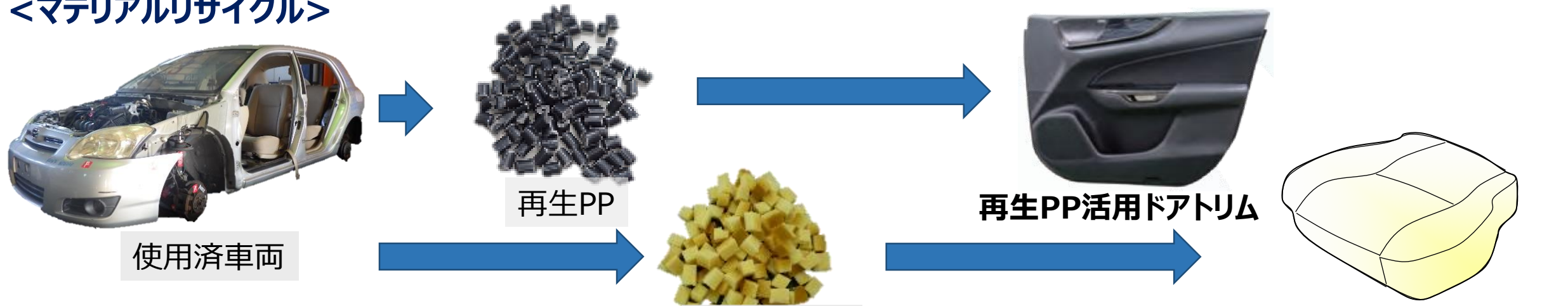


バリューチェーン全体でScope 3のCO2排出削減に一体となって取り組んでいく

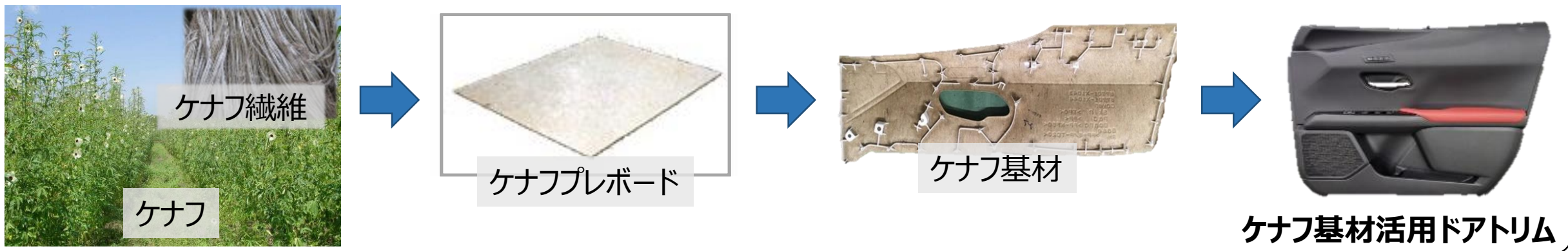
6. サーキュラーエコノミーへの取り組み (Scope3)

カーボンニュートラル実現に向けた材料戦略の立案・実行

【具体的な取り組み内容】
<マテリアルリサイクル>



<バイオマス化>

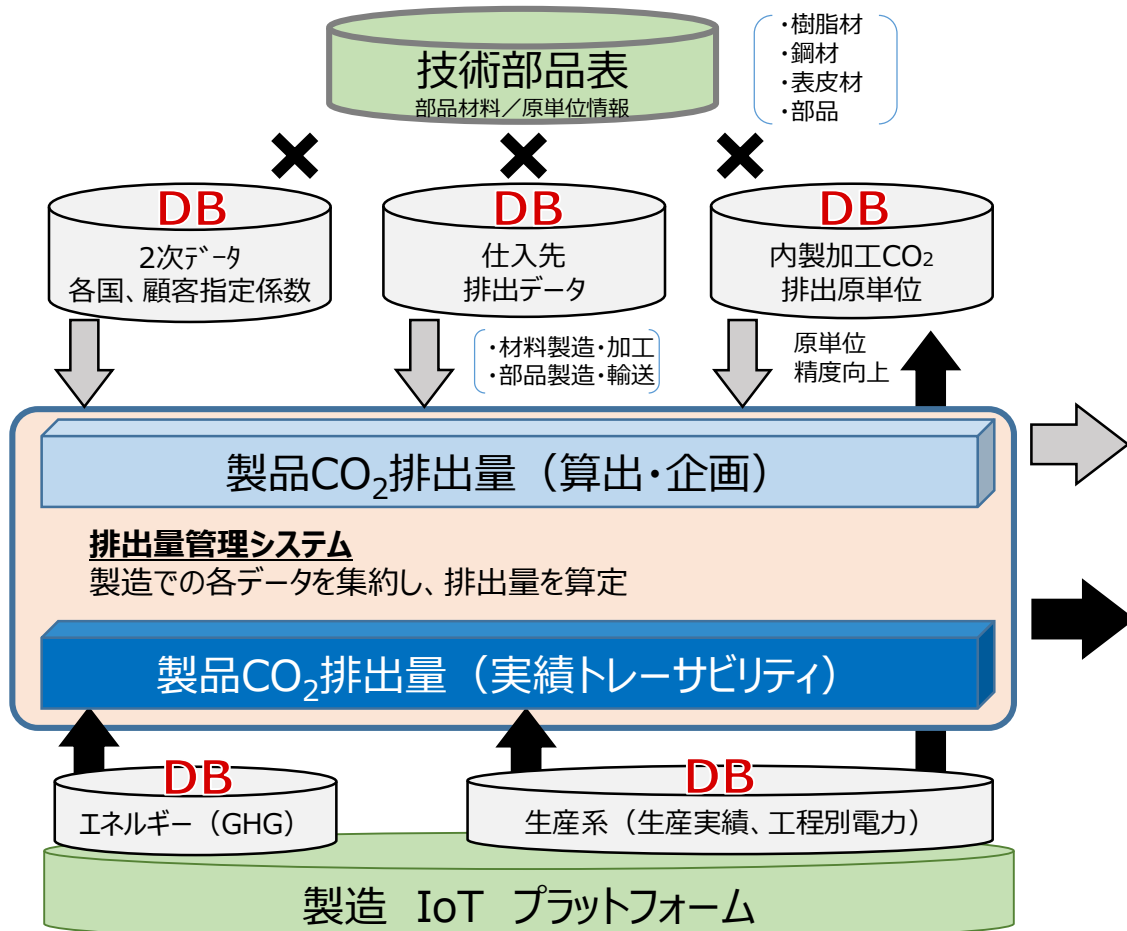


技術開発により循環型材料製品を実現していく

7. ものづくりを通じたLCA対応 (Scope全体)

排出量管理の仕組み構築

【製品別排出量管理の考え方】



製品開発



原価・質量企画同等の
排出量企画の仕組み
構築検討

算定データを生産性向上・CO₂削減につなげる

排出量管理

見える化
意思決定へ活用

CFP管理
製品別排出管理

情報開示
第三者認証対応

環境対応を競争力の強化と位置づけ、積極的に推進

TCFD、SBT等第三者機関への情報開示、目標の認定へ確実に対応し、競争力につなげる

8. 生物多様性保全に向けた取り組み

生物多様性保全活動

30by30アライアンスへの賛同表明（2022年）



30by30（サーティ・バイ・サーティ）とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

オールトヨタ グリーンウェーブプロジェクトへの参画（2015年～）

オオキンケイギク※駆除活動（2022年）



※ 特定外来生物
として指定

トヨタ紡織フランスでの鳥類保全活動（2021年）



会社敷地内に灌木を植樹、鳥の住環境を提供することで、個体数復活を期待

30by30 等の枠組みを通じ、固有種の生息地保護に貢献すると同時に、TNFDに沿った開示に向けた準備を進める



**社会：
安全・安心・快適な車室空間の実現に向けて**

1. トヨタ紡織のありたい姿「インテリアスペースクリエイター」

目指す姿

- Interior Space Creator



実現したい価値

QUALITY OF TIME AND SPACE
すべてのモビリティへ“上質な時空間”を提供



こころ豊かな暮らし

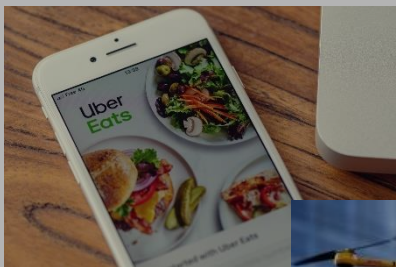


インテリアスペースクリエイターとしてこころ豊かな暮らしへ貢献する

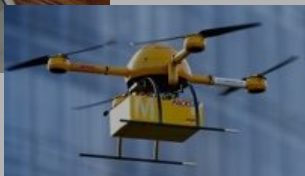
2. 社会動向と消費者ニーズ

C

暮らしのインスタント化 が加速



出典1

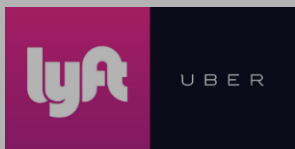


出典2



出典3

出典4



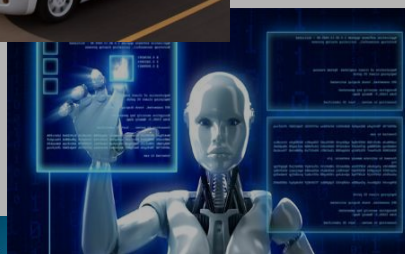
出典5

A

生活の質が向上



出典6



出典7



出典8

S

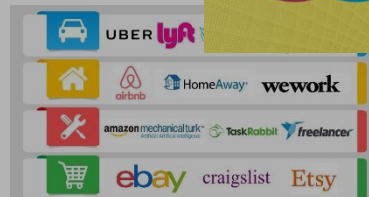
Z世代を中心に 価値観が変化



出典9



出典10



出典11

E

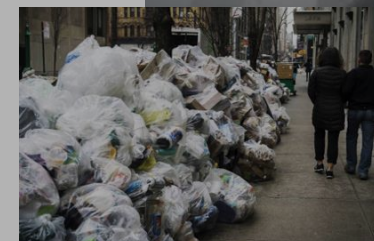
環境問題への 意識が向上



出典12



出典13



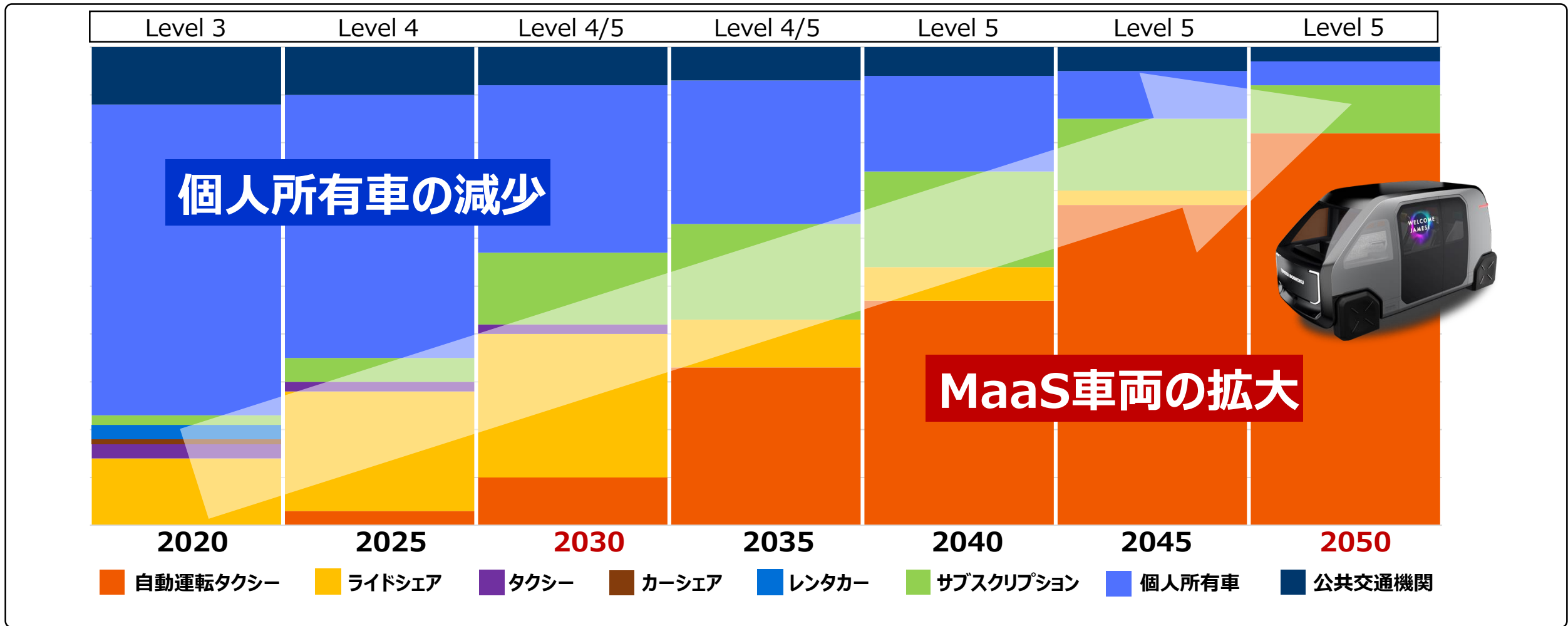
出典14

CASEが今後さらに加速すると予測される

3. 社会問題・自動車産業の変化

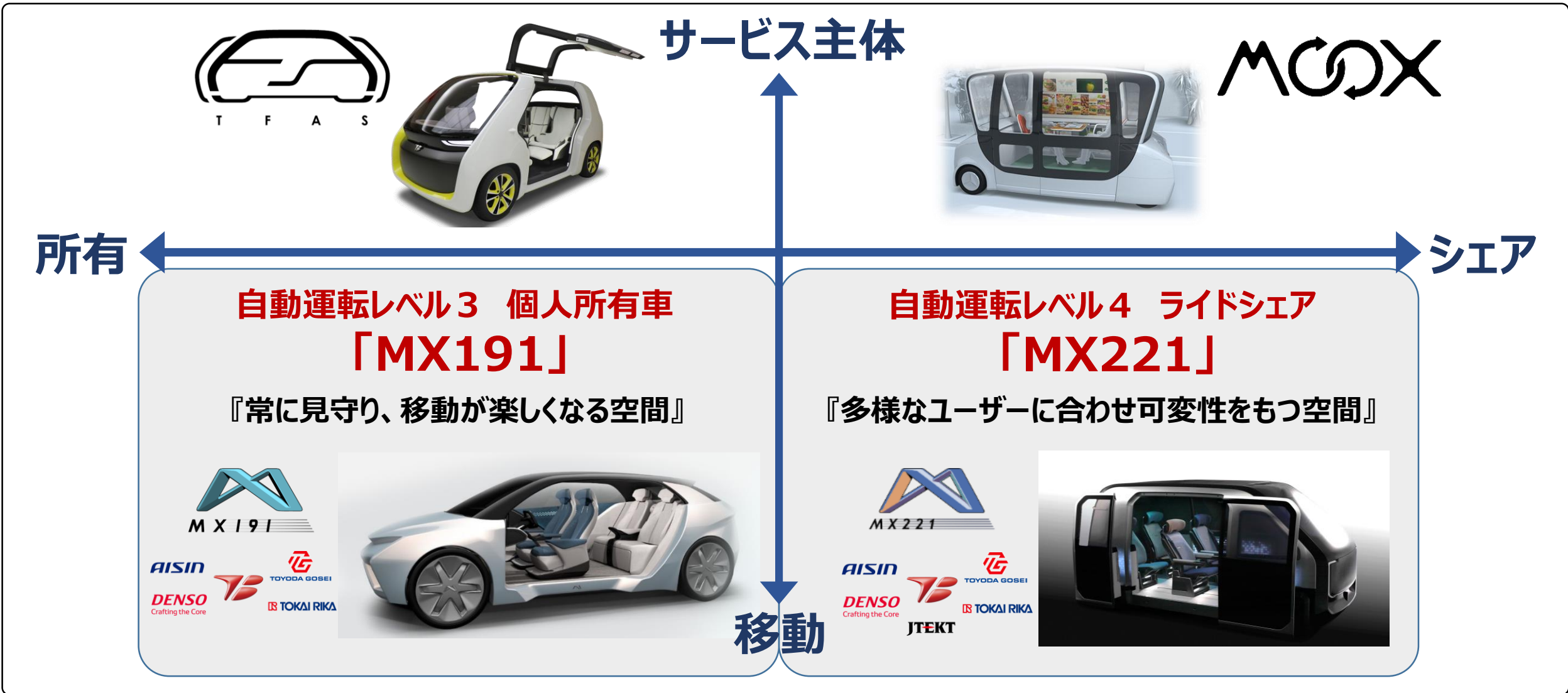
都市部における未来のモビリティ市場予測

※図：各種 調査会社市場予測を基にトヨタ紡織作成



MaaS車両拡大への対応が必要

4. インテリアスペースクリエイターに向けて



ニーズに応じたコンセプト企画を推進していく

5. 取り組みの具体的事例①

酔い軽減システム

FEEL GOOD

DO MORE

背景： 自動運転では、約 **4割**の方が「**車酔い**」しやすい行動を希望

提供価値： **乗り物酔いの軽減**や、迅速な回復をサポート

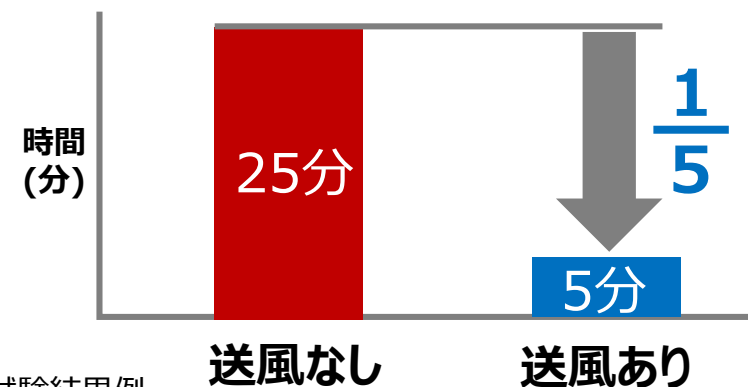
機能： シートからの**送風**で首元を冷やし、酔い軽減をサポート



<酔い実験の様子>



<酔いから回復するまでの時間※>



※当社試験結果例

モビリティ全般へ価値を広げ、有意義な移動時間の提供で社会へ貢献する

6. 取り組みの具体的事例②

熱マネジメントで電費向上

環境

FEEL GOOD

エアコン使用抑制と
快適性向上両立

シート空調使用

エアコンのみ

エアコン抑制

シートヒーター使用

シート技術

① 高性能SVS(シート空調)

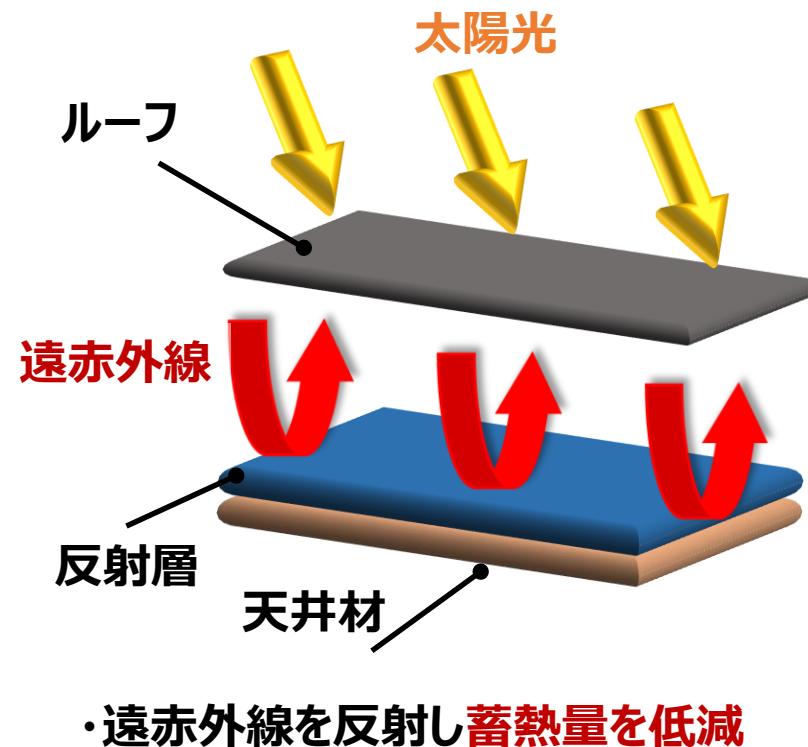
- ・シート内の圧損低減
→送風性能向上

② スマートヒーター

- ・ヒト中心の緻密制御
可能なヒーター開発
→ヒトに対し効率的な加温

内装技術

③ 遠赤外線反射天井



エネルギー消費の抑制と快適性向上を両立し、環境も人も豊かにする

7. 取り組みの具体的事例③

リラックス&セーフティシート

安全

DO MORE

目的

安楽姿勢の乗員に対する衝突エネルギー軽減方策の開発

開発状況

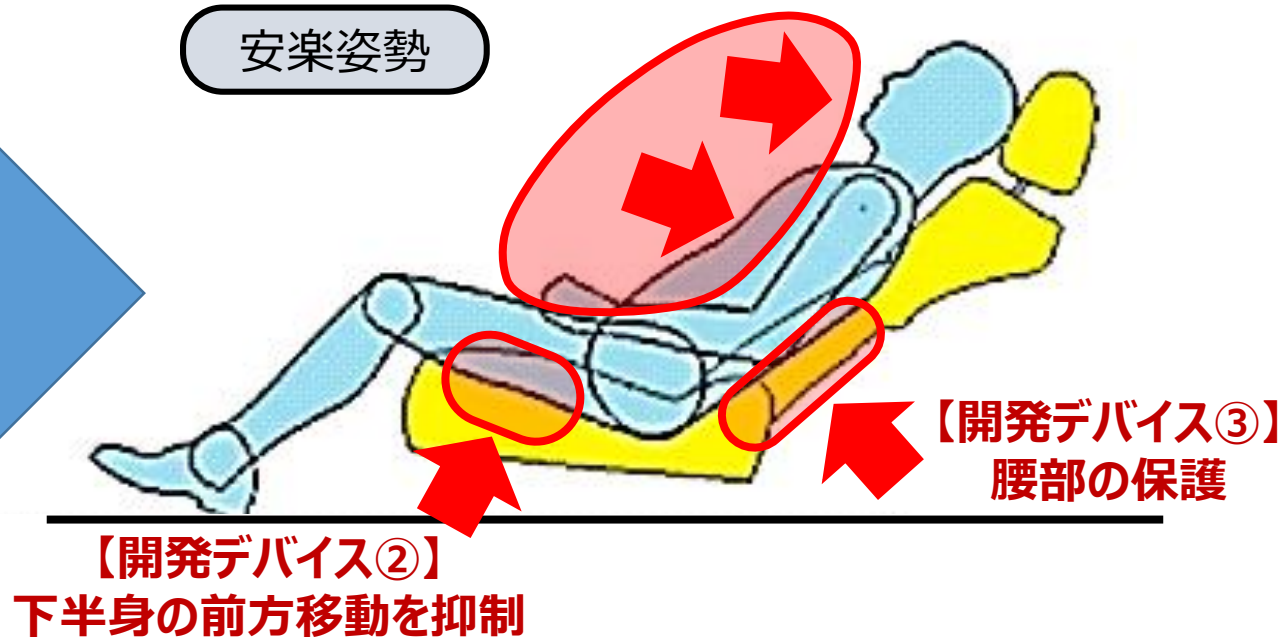
鋭意開発中

- ・さまざまな条件での効果を分析中
- ・開発デバイスのシート構造検討を実施中

着座姿勢



安楽姿勢




【開発デバイス①】
上半身の前方移動を抑制

【開発デバイス③】
腰部の保護

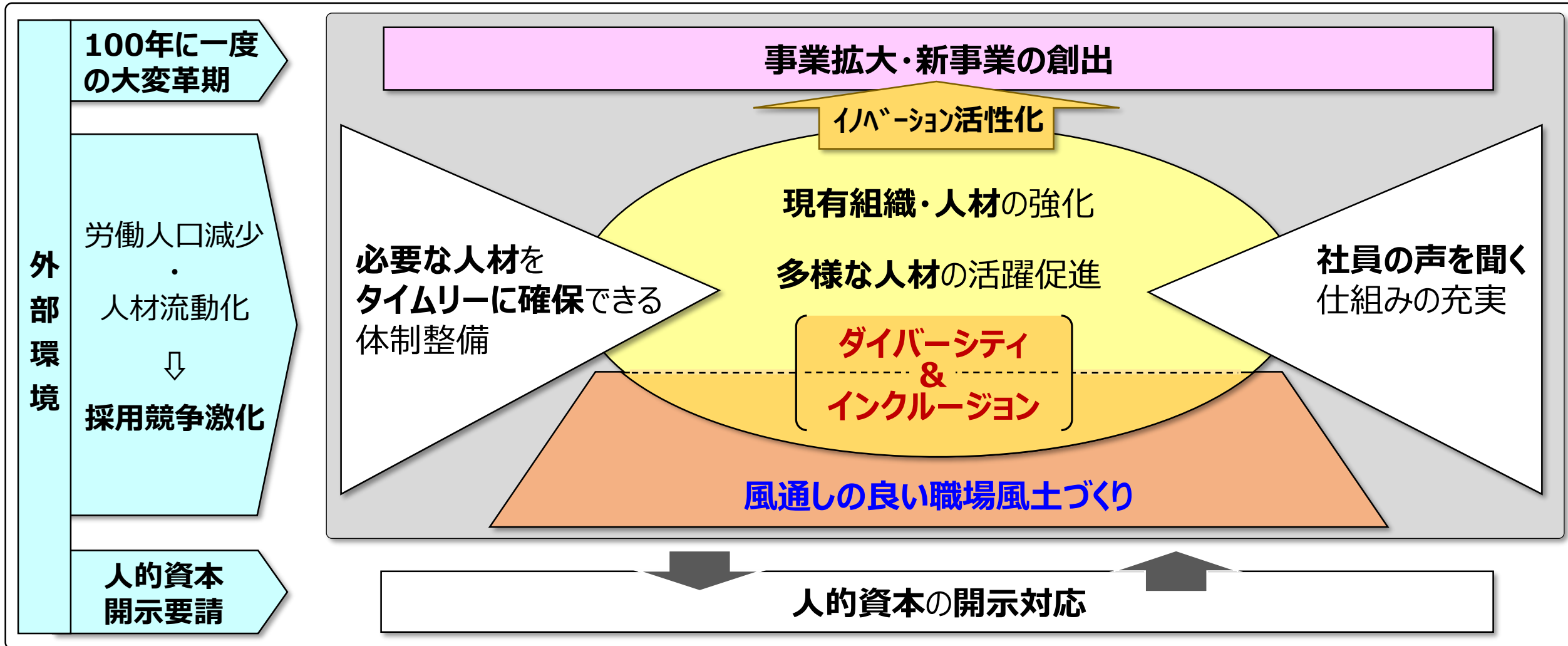
【開発デバイス②】
下半身の前方移動を抑制

快適性と衝突エネルギー軽減を両立し、より自由な車室空間を実現する



**社会：
トヨタ紡織の誰もがいきいきと働き、
イノベーションを起こすために**

1. 人事戦略の全体像



2030年のありたい姿を実現するための人事戦略を体系化

2. ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)

〈グローバル共通の人事制度 (GHR Platform) の概要〉

	RSC Regional Succession Committee	GSC Global Succession Committee	GSCT Global Succession Committee by Top executive
内容	グローバルに 人材育成 と 最適配置 を議論する場		
議論 の 対象	本部・地域内 Manager以上	グローバル 拠点長・機能トップ・部長以上	役員候補
	G0/G1	G0/G1	G0/G1 役員候補
	G2	G2	G2
	G3	G3	G3

〈女性活躍促進ワーキンググループ° 活動風景〉



〈グローバル幹部教育 活動風景〉



〈ハラスメント防止 ライン長教育 活動風景〉



D&Iと風通しの良い職場風土づくりにより 多様な人材の活躍を促進する

3. イノベティブ人材育成プログラム





**事業拡大・
新事業の創出**

イノベーション
活性化

多様な人材の
採用・活躍促進

ダイバーシティ
&
インクルージョン

風通しの良い
職場風土づくり

取組み (22年8月～)	内容
 <p>Re:act (リアクト)</p>	<p>2022年度：参加者 1,629 名</p>  <p>宇宙week 新しい価値を生み出そう</p> <p>新しい価値を生み出す <u>きっかけづくり</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) イノベティブなアイデア創出のきっかけを提供するワークショップ (2022年度は「宇宙」をテーマに設定) 2) 腕試しの場となるアイデアコンテスト
 <p>We:ave (ウィーブ)</p>	<p>名古屋のシェアオフィスでの活動の様子</p>  <p>新しい価値を生み出す <u>実践教育プログラム</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公募制・11名が半年間専任 2) 有識者からの指導を受け自らのアイデアの事業化を検討 3) 成果発表会

イノベティブ人材育成プログラムを通じ、事業拡大・新事業創出の担い手を育成する



ガバナンス： 透明で公正な企業を目指して

1. ガバナンス強化の取り組み

公正で透明な企業

赤字：本日ご紹介する取り組み

1) 取締役会実効性向上

- ①メンバーの多様性確保
- ②取締役会の議題の充実
- ③社外役員サポート強化

等

2) コンプライアンス体制強化

- ①内部通報制度の改善
- ②人権への取り組み
- ③行動指針浸透・実践強化

等

3) リスク管理体制強化

- ①リスク管理推進会議
- ②情報セキュリティ強化
- ③DXへの取り組み

等

ガバナンス強化の取り組みにより公正で透明な企業を目指す

1) 取締役会実効性向上

①メンバーの多様性確保

取締役会スキルマトリクス		企業経営	業界の知見	ガバナンス	海外事業	技術・開発	モノづくり	営業・調達	財務	人事・ひとづくり	法務・コンプライアンス	環境・エネルギー
地位	氏名											
独立社外取締役	小山 明宏			●					●	●	●	
独立社外取締役	塩川 純子			●	●				●		●	
独立社外取締役	瀬戸 章文			●		●	●			●		●
独立社外取締役	伊藤 健一郎		●	●	●				●	●		
取締役会長	豊田 周平	●	●	●	●	●	●	●				
取締役副会長	宮崎 直樹	●	●	●	●				●	●	●	●
取締役社長	白柳 正義	●	●	●	●			●	●			●
取締役執行役員	山本 卓	●	●	●		●	●					●
取締役執行役員	岩森 俊一		●	●	●			●	●			●

豊富な経験や幅広い見識を有しているメンバーで構成している

1) 取締役会実効性向上

①メンバーの多様性確保

小山 明宏 学習院大学経済学部 教授

企業財務、コーポレート
ガバナンス等の研究や
グローバルな視点での
企業経営の専門知識



塩川 純子 コンヤース・デイル・アンド・ピアマン
法律事務所 香港オフィス コンサルタント

投資ファンド、ファイナンス、国際
M&A等のグローバル事案への
弁護士としての高い知見



瀬戸 章文 金沢大学 理工研究域
フロンティア工学系 教授

さまざまな工学の知識や技を
組み合わせ、未来社会を
切り拓く研究等の**科学的知見**



伊藤 健一郎 デンソー取締役

さまざまな地域で経営役員を
担当した豊富な**国際経験と**
人事・財務部門の幅広い知見



社外取締役の専門性の高い知見で経営の適正性を監督する

1) 取締役会実効性向上

② 取締役会の議題の充実

【取締役会の主な議題】

法令等に基づく議題

- 株主総会関連
- 役員、組織、取締役報酬
- 内部統制システムの整備に関する基本方針
- 取締役会の実効性評価
- 内部通報制度の運用状況

等

経営計画・戦略他

- グローバル方針策定
- 事業ポートフォリオ基本方針策定
- 事業進出・提携・再編
- コロナ対策・サイバー攻撃等のリスク管理
- 品質取り組み状況

等

ESG関連議題

- サステナビリティ基本方針、人権方針策定
- カーボンニュートラル対応
- 人づくりの取り組み
- 知財戦略、DX戦略
- ESG KPI状況報告

等

ESG関連議題を充実し、経営を幅広く監督する体制を構築していく

2) コンプライアンス体制強化

① 内部通報制度の改善

法令違反・社内不正等に関する相談窓口を当社および子会社に設置

＜当社および国内子会社から寄せられた相談件数＞

年度	2017	2018	2019	2020	2021
社内相談窓口※1	134	152	107	163	190
弁護士事務所 相談窓口※2	9	8	12	9	13

※1 コンプライアンス、仕事、人間関係、家族など個人的な悩みに関する相談・通報窓口

※2 コンプライアンス、法令・社内規則違反、不正行為に関する相談・通報窓口

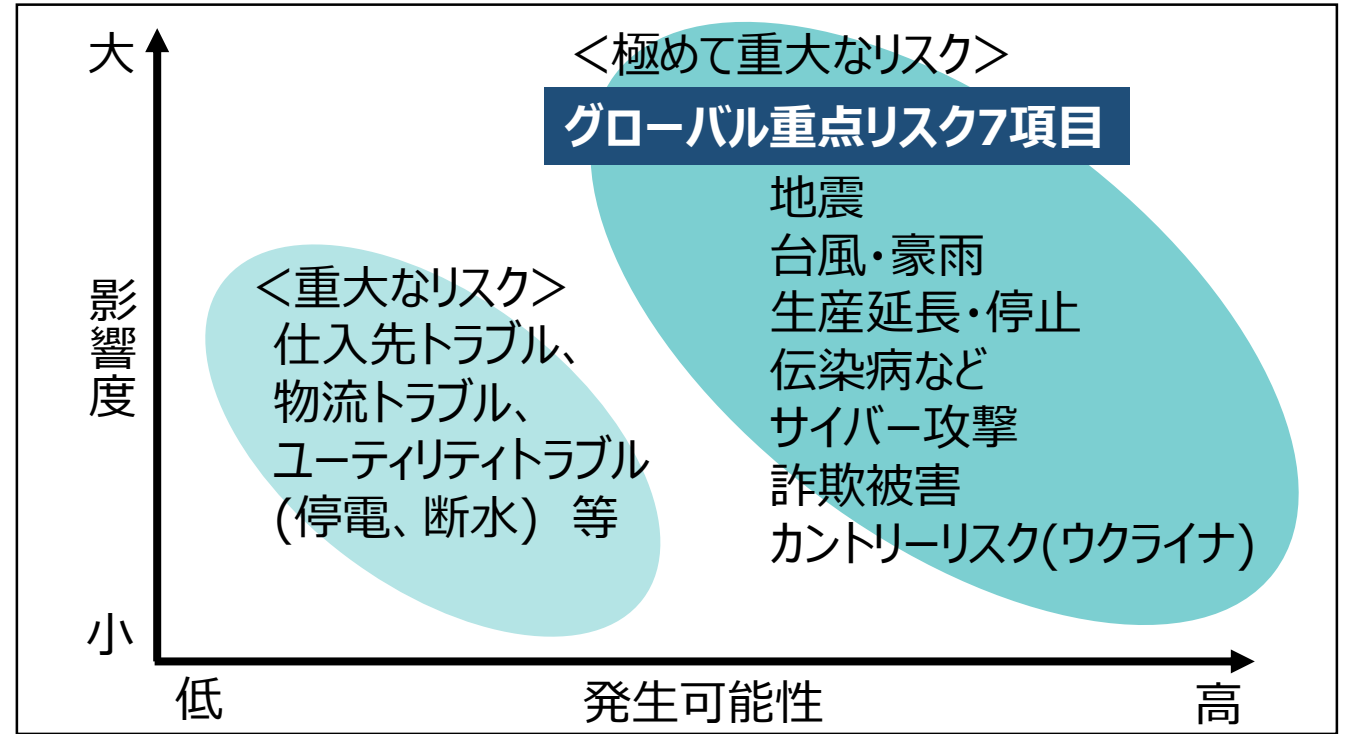
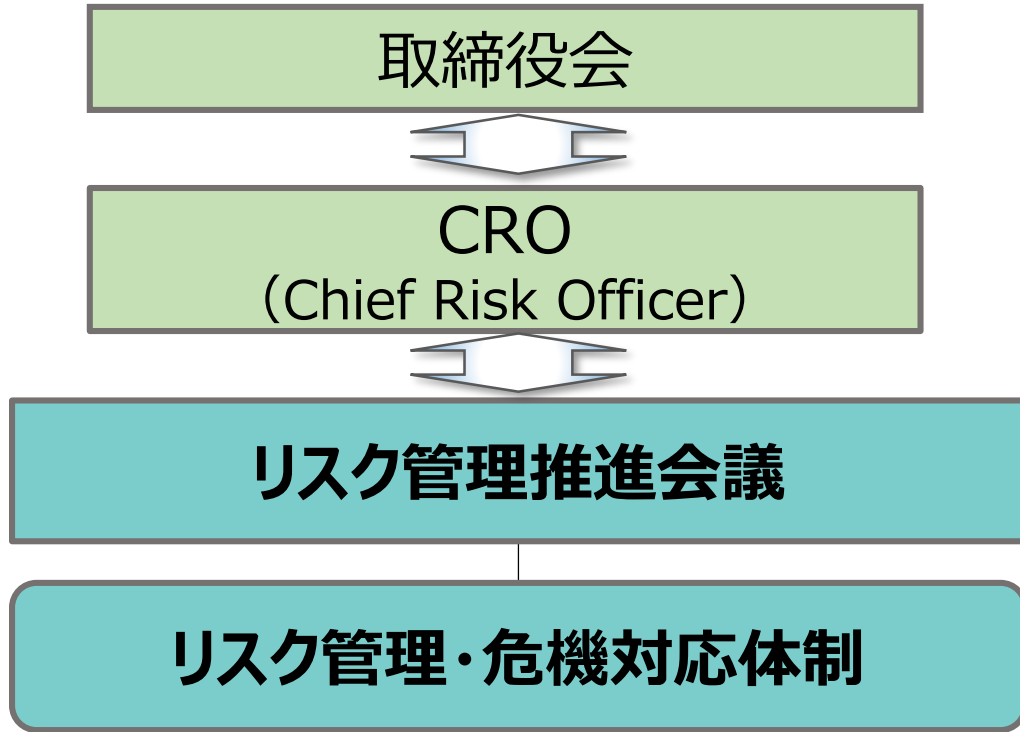
相談窓口の認知度と信頼度を向上し、課題の早期発見・解決につなげる

3) リスク管理体制強化

① リスク管理推進会議

CROを中心にリスク管理体制を構築し、経営に影響を及ぼす新たな事業リスクに対応

2022年度トヨタ紡織グループリスクマップ



リスクマップに基づき、経営陣含め社内共有することで、
リスク予防と危機発生時の被害最小化を図る

ともに挑む 新たな100年 Open the door!



TOYOTA BOSHOKU

ESG KPI 25項目

本日ご紹介した取り組みに関連するESG KPI

E (環境)					S (社会)					G (ガバナンス)				
NO.	KPI項目	2021年度実績	目標値		NO.	KPI項目	2021年度実績	目標値		NO.	KPI項目	2021年度実績	目標値	
			2025年度	2030年度				2025年度	2030年度				2025年度	2030年度
1	生産CO ₂ 排出量削減率 (2013年度比)	▲1.6%	▲25%	▲50%	8	特許出願件数	221件	320件/年	500件/年	18	環境異常・苦情発生件数	0件	0件	←
2	再エネ導入率	3.7%	15%	40%	9	社外発表・論文数	61件	90件/年	120件/年	19	サイバーセキュリティ 重大インシデント発生件数	-	0件	←
3	物流CO ₂ 排出量削減率 (2011年度比)	▲36%	▲14%	▲20%	10	インテリアスペースクリエイターにつながる新製品開発率	50%	65%	75%	20	DX認定	-	DX-Excellent企業	←
4	廃棄物排出量削減率 (2011年度比)	▲17.9%	▲14%	▲20%	11	交通安全に寄与する製品の採用が予定される車種率	-	20%	50%	21	独占禁止法違反件数	0件	0件	←
5	水使用量低減率 (2013年度比)	▲24.6%	▲6%	▲8%	12	社会貢献活動の推進参加者数	延べ1,067人	延べ2,000人	←	22	贈収賄違反件数	0件	0件	←
6	自然共生 (植樹本数)	5万本	累計64万本	累計77万本	13	行動指針の実践度	78%	100%	←	23	サプライチェーン上の人権リスク対応 (人権デュー・デiligエンスの展開)	-	展開率100%	←
7	環境負荷ミニマム化につながる電動化製品のユニット部品における売上高比率	4.2%	10%	45%	14	全社員へのストレスチェック実施回数	1回/年	1回/年	←	24	客先からの外部表彰	11件	5件	←
					15	健康診断受診率	99.9%	100%	←	25	適時開示遵守率	100%	100%	←
					16	社員の重大災害発生件数	0件	0件	←					
					17	外来工事業者・外来者の重大災害件数	0件	0件	←					

- 1.<https://manamina.valuesccg.com/articles/835>
- 2.<https://www.prometec.net/nuestro-proyecto-para-un-dron-util/>
- 3.<https://logosmarcas.net/netflix-logo/>
- 4.<http://pngimg.com/download/61228>
- 5.Uber, Lyft And Commercial Truck Accidents - Lyft Decal Transparent PNG - 1056x556 - Free Download on NicePNG
- 6.<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1602/11/news027.html>
- 7.<https://www.hina.com/blog/24>
- 8.<https://www.eweek.com/innovation/cyberfest-conference-looks-at-road-ahead-for-iot-security/>
- 9.https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp/column/20220630_kinto_recommend
- 10.<https://why.mopress.io/press/YRdGp8KeDz>
- 11.<http://futurelab.assaabloy.com/en/security-in-the-sharing-economy/>
- 12.<https://www.thestar.com.my/news/nation/2017/11/18/traffic-jam-in-china-behind-viral-posting-of-mass-desertion-of-cars-in-germany/>
- 13.<https://www.theuniplanet.com/2017/04/poluicao-gerada-na-china-para-fabricar.html>
- 14.<https://www.wsj.com/articles/nyc-spends-more-on-recycling-collecting-than-regular-trash-1503585000>